

PROFILE

ご案内





わが国は現在、加速する人口減少や東京一極集中による地方の人手不足に直面するほか、不安定な中東情勢や米国の関税政策による影響が経済活動や国民生活の先行きに不透明感をもたらしています。

このような中においても将来への不安を希望に変え、経済成長を持続させていくためには、時代の潮流を確実に捉え、針路を見定めた上で、中部圏の明るい未来の実現に向けて力強く前進していくことが重要です。

中経連は昨年、2050年頃の社会を展望し、当地が歩むべき方向を示す羅針盤として「中部圏ビジョン2050」を定め、その道のりのマイルストーンとなる中期活動指針「ACTION2030」を公表しました。

本指針は、国が描く成長戦略や地域未来戦略とも方向性を同じくするものであり、今年度は引き続き、指針で掲げた各施策を着実に、粘り強くやり遂げていくことに注力してまいります。

具体的には、DXとGXの同時進行による「製造業のスマート化」やカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みのほか、次世代モビリティ産業の育成や広域観光の振興、ナゴヤ イノベーターズ ガレージを起点としたオープンイノベーションの促進、多様な人材の育成・活躍やレジリエントで魅力あるまちづくりなどに資する活動を推し進めていきます。

広域的な経済団体である中経連の役割は、当地の産学官金や地域を“つなぎ”、“挑戦と連携を引き出す”活動を通じて、中部圏の魅力や競争力の向上に向けた道を切り拓くことです。

会員の皆様によるパワーを源に、「声と力をつなぎ、成し遂げる中経連」として、挑戦を続けてまいります。

引き続き、会員の皆さまからの変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2026年7月

一般社団法人中部経済連合会

会長 勝野 哲

中経連とは

名称

一般社団法人中部経済連合会
英文：Central Japan Economic Federation
略称：中経連

創立

1951年（昭和26年）4月2日

会員

主として中部圏において経済活動を展開している企業・学校法人・経済団体など約800者（約4分の1が製造業）

活動エリア

長野・岐阜・静岡・愛知・三重の中部5県

創立の経緯

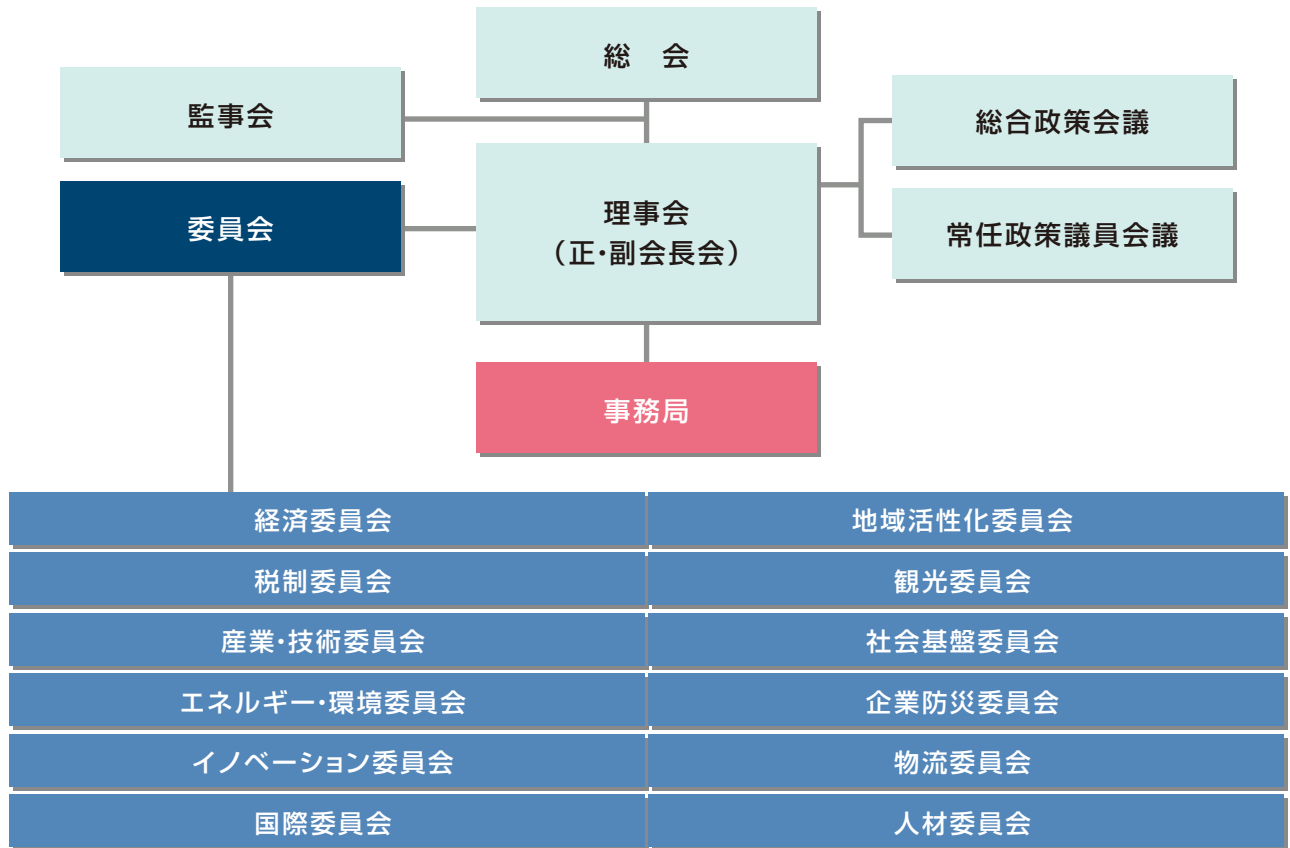
中経連は、未だ戦後の混乱期にあり、将来に対する不透明感が漂う1951年、中部経済界が一丸となって課題と対峙し、“中部圏の発展を支える”という強い決意のもと創立されました。

役割

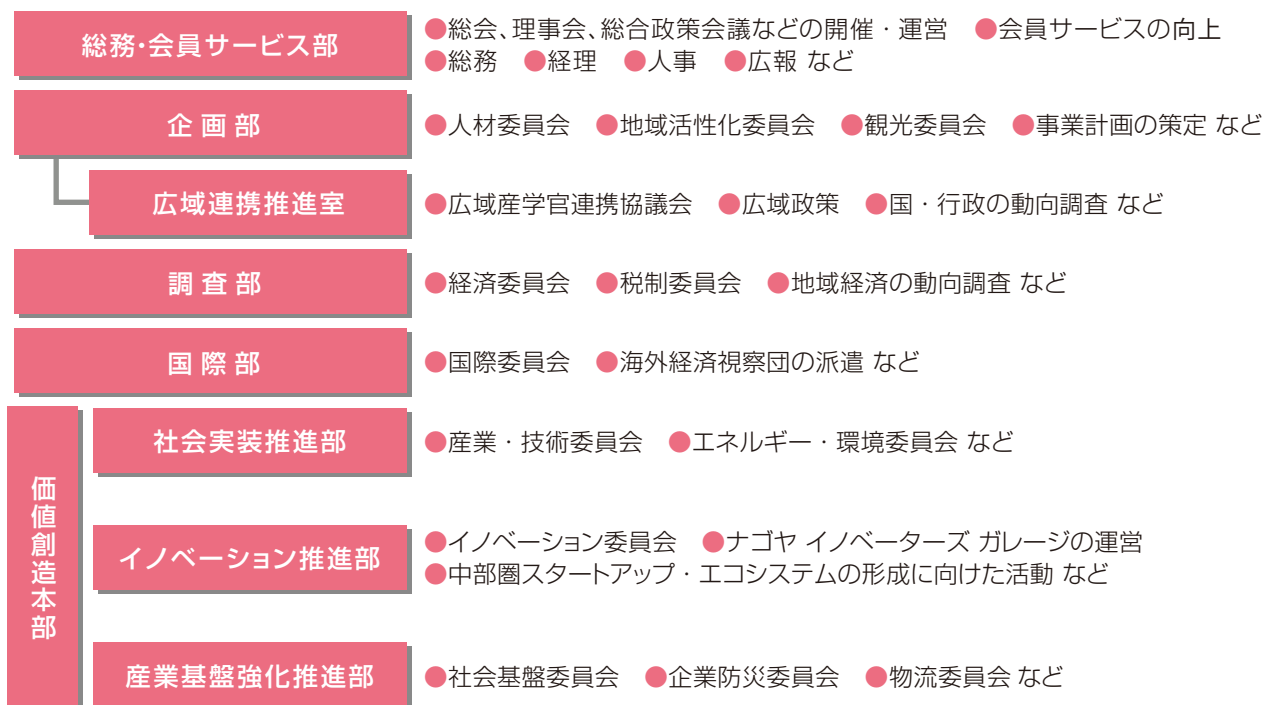
中経連は、当地の産学官金や地域間の「声を集め、力をつなぐ」広域経済団体として、プラットフォームの創出や情報連携、地域の声をワンボイスにして届ける政策提言などを通じ、中部圏の持続的な発展と競争力向上に貢献します。



機構図



事務局組織図



役員紹介 (役職名は2026年7月1日時点)

会長



勝野 哲
中部電力(株)
代表取締役会長

副会長



柘植 康英
東海旅客鉄道(株)
相談役



安藤 隆司
名古屋鉄道(株)
代表取締役会長



大島 卓
NGK(株)
代表取締役会長



中田 卓也
ヤマハ(株)
取締役会長



神野 吾郎
(株)サーラ
コーポレーション
代表取締役社長
兼 グループ代表・CEO



安藤 仁
日本トランスシティ(株)
代表取締役社長
社長執行役員



松下 正樹
(株)八十二長野銀行
取締役会長
会長執行役員



青木 武志
イビデン(株)
代表取締役会長



宮崎 洋一
トヨタ自動車(株)
代表取締役副社長



杉浦 雅和
(株)百五銀行
取締役頭取



林 欣吾
中部電力(株)
代表取締役社長
社長執行役員 CEO



小川 恭範
セイコーエプソン(株)
取締役会長



柴田 久
(株)しずおか
フィナンシャルグループ
代表取締役社長



寺師 茂樹
(株)豊田自動織機
取締役会長



池田 直樹
(株)十六
フィナンシャルグループ
代表取締役社長
グループCEO



小野寺 雅史
(株)三菱UFJ銀行
取締役副頭取執行役員

理事



松尾 清一
国立大学法人
東海国立大学機構
機構長



中村 宗一郎
国立大学法人
信州大学
学長



平光 範之
日本製鉄(株)
常務執行役員
名古屋製鉄所長



北川 尚子
東海東京証券(株)
代表取締役社長

監事



大津 正己
川北電気工業(株)
代表取締役社長



杉浦 正樹
中部日本放送(株)
代表取締役会長



鏡味 伸輔
東邦ガス(株)
代表取締役副社長
執行役員



藤田 直樹
(株)みずほ銀行
常務執行役員

事務局役員

平松 岳人
専務理事

梅村 理史
常務理事事務局長

小倉 克幸
常務理事

委員会

本会は12の委員会を設置し、国内外の経済社会などに関する諸課題について調査研究・提言を行うなどのさまざまな活動に取り組んでいます。あわせて、活動を通じた会員相互の交流を図っております。

経済委員会

委員長 小野寺 雅史

- **経済政策、社会制度**などに関する調査研究・提言および要望・推進活動の展開

地域活性化委員会

委員長 池田 直樹【岐阜】
共同委員長 松下 正樹【長野】柴田 久【静岡】
杉浦 雅和【三重】

- 会員・関係機関との連携による**地域活性化策**の検討
- 地域を支える**産業の活性化**や**地域づくり**に関する調査研究・提言および要望・推進活動の展開

税制委員会

委員長 杉浦 雅和

- 産業育成・振興に資する**税・財政**などに関する調査研究・提言および要望活動の展開

観光委員会

委員長 安藤 隆司

- **観光の振興**に関する調査研究・提言および要望・推進活動の展開

産業・技術委員会

委員長 宮崎 洋一

- 提言書「**DXとGXによる製造業のスマート化を起点とした産業の進化と多様化**」に基づく活動として、DX伴走支援活動の推進、成功事例／失敗事例や最新技術、規制動向などの情報共有の検討、実装推進における課題解決に向けた産学官連携支援の検討

社会基盤委員会

委員長 柘植 康英

- **総合的な交通ネットワークの整備**に関する調査研究・提言および要望活動の展開

エネルギー・環境委員会

委員長 林 欣吾

- **脱炭素、サーキュラーエコノミーをはじめ、エネルギー・環境保全**に関する調査研究・提言および要望・推進活動の展開

企業防災委員会

委員長 寺師 茂樹
共同委員長 平光 範之

- **防災・減災**に関する調査研究・提言および要望・推進活動の展開

イノベーション委員会

委員長 青木 武志
共同委員長 大島 卓

- **イノベーション力の強化、新産業の創出**に向けた調査研究・提言および要望・推進活動の展開
- イノベーション・スタートアップエコシステムの機能強化

物流委員会

委員長 安藤 仁

- 温室効果ガス排出量削減や労働力不足への対応に資する**物流のあり方**に関する調査研究・提言および要望・推進活動の展開

国際委員会

委員長 大島 卓

- **産業のグローバル競争力強化**に関する調査研究・提言および推進活動の展開
- **外国人材の活躍促進、多文化共生社会の実現**に関する調査研究・提言および推進活動の展開

人材委員会

委員長 神野 吾郎

- 産業・地域を支える**人材**に関する調査研究・提言および要望・推進活動の展開

(委員長は2026年7月1日時点)

●最近の提言書・レポート

レポート 「会員企業の災害対応力に関するスコア診断結果」(2026年5月/企業防災委員会)

レポート 「中部圏の建設業界における供給制約の現状と課題」(2026年4月/調査部)

緊急提言 「『強靱かつ持続可能』な工業用水道事業に向けて～老朽化対策・耐震化の加速が急務となっている工業用水道事業の課題と提言～」(2026年3月/社会基盤委員会)

提言書 「DXとGXによる製造業のスマート化を起点とした産業の進化と多様化」(2026年3月/経済委員会、産業・技術委員会)

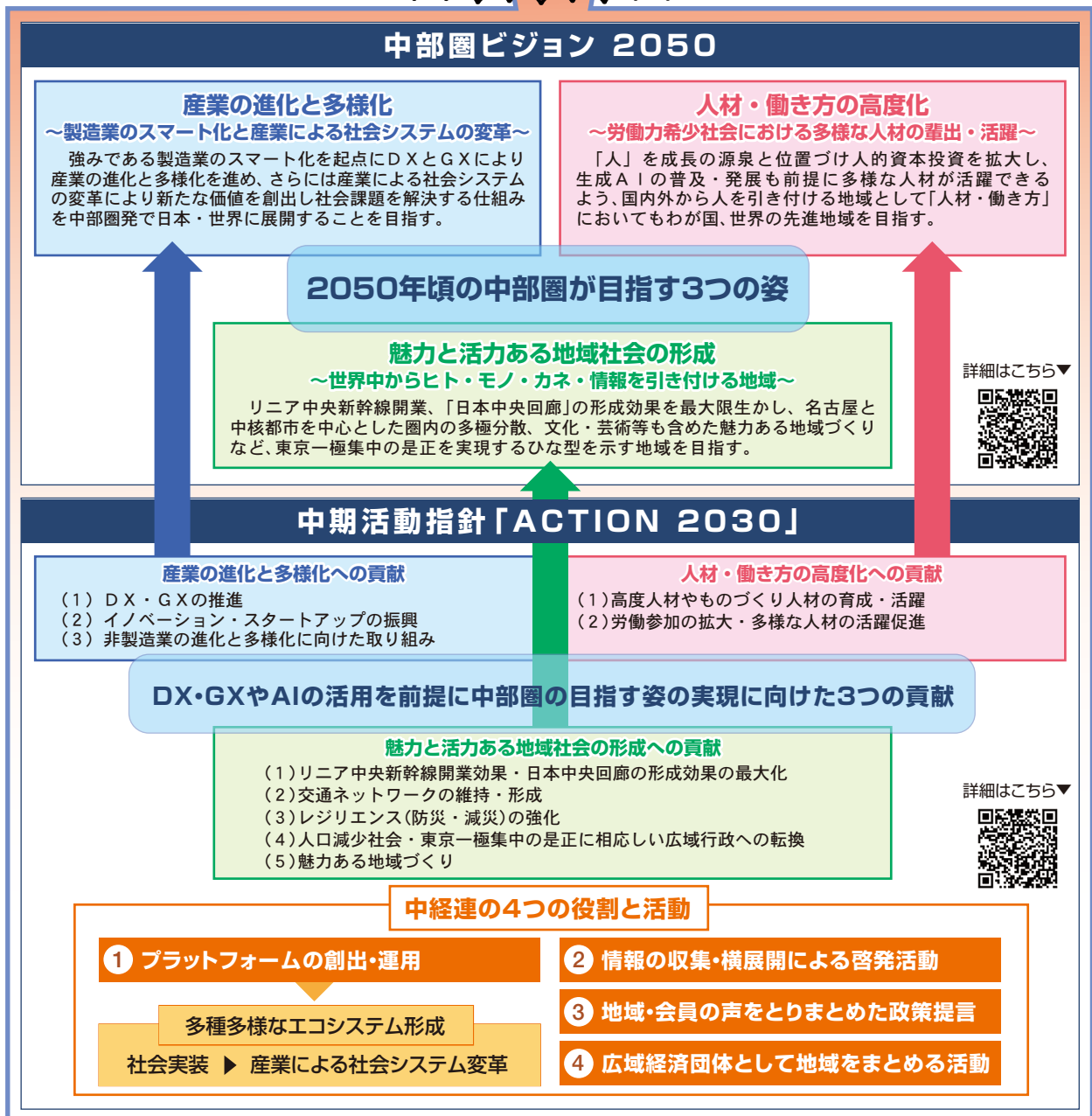
レポート 「中部圏企業における女性管理職比率の現状と引き上げに向けた課題」(2026年3月/調査部)

提言書 2026年度税制改正に対する意見(2025年9月/税制委員会)

「中部圏ビジョン 2050」の実現に向けた 中期活動指針「ACTION 2030」概要

中経連は、人口減少や地球環境への対応が続く大きな流れの中で、2050年頃には日本が「豊かで持続可能な社会」を実現していることを目指す「中部圏ビジョン 2050」を策定した。ビジョンでは日本の課題と対応の方向性を整理し、中部圏が貢献できること、すなわち中部圏の目指すべき姿として「産業の進化と多様化」「人材・働き方の高度化」「魅力と活力ある地域社会の形成」の3つを掲げている。

あわせて、2030年に向けた行動計画として中期活動指針「ACTION 2030」を策定し、中経連が担う4つの役割・活動と、ビジョンで掲げた中部圏の目指すべき姿の実現に資する具体的な取り組みを整理した。今後はこの指針に則り、わが国が「豊かで持続可能な社会」となるために、中部圏として貢献できる取り組みを進めていく。



2026年度事業計画 概要

詳細はこちら
(中経連HP)▶



活動方針

2026年度は、中期活動指針『ACTION 2030』の2年目として、活動を本格的に具体化させる年と位置付けている。『中部圏ビジョン2050』で掲げた「豊かで持続可能な社会」の実現に向け、「産業の進化と多様化」「人材・働き方の高度化」「魅力と活力ある地域社会の形成」の3つの“貢献”を活動の柱に据え、GXとDXの進行およびAIの活用を前提に、「オープンイノベーションの促進」「広域連携の強化」「人材の育成・活躍」の視点とともに、2025年度の活動や会員・地域からの意見も踏まえた活動を展開する。

主な事業活動

産業の進化と多様化

DX・GXの推進	<ul style="list-style-type: none"> ■GXを先導する社会実装の推進
	<ul style="list-style-type: none"> ■DXとGXを両輪にした製造業のスマート化の推進 ■デジタルリテラシーの底上げ、サイバーセキュリティ対策の強化 ■次世代モビリティ産業の振興 ■産業の多様化・半導体産業のさらなる振興
イノベーション・スタートアップ振興	<ul style="list-style-type: none"> ■スタートアップ・エコシステム形成活動 ■オープンイノベーションの促進 ■ナゴヤ イノベーターズ ガレージにおけるイノベーション創出人材の育成および人材越境の促進
非製造業の進化と多様化に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ■広域観光の促進 ■非製造業における産業の多様化に向けた取り組み

人材・働き方の高度化

高度人材やものづくり人材の育成・活躍	<ul style="list-style-type: none"> ■社会環境の変化に対応した働き方や教育の変革につながる活動の推進 ■産学官連携による外国人材の活躍促進
労働参加の拡大・多様な人材の活躍	

魅力と活力ある地域社会の形成

リニア中央新幹線開業の効果最大化	<ul style="list-style-type: none"> ■道路・港湾等の早期整備および日常インフラの強靱化 ■セントレア(中部国際空港)の機能強化・利便性向上 ■持続可能な物流の構築
交通ネットワークの維持・形成	
レジリエンスの強化	<ul style="list-style-type: none"> ■「自助」「共助」「公助」による災害対策の強化
広域行政への転換	<ul style="list-style-type: none"> ■広域産学官連携の強化 ■「中部広域リージョン※」の推進
魅力ある地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ■地域の魅力の発掘・創出 ■多文化共生社会の実現

分野横断事業・経済団体としてベースとなる活動

<ul style="list-style-type: none"> ■経済政策、社会制度、経済法規などに関する調査研究・提言・要望および推進活動 ■地域経済や産業の振興に資する税制改正に関する調査研究・提言および要望活動 ■国際化の推進、国際競争力の強化 ■行政・他経済団体との連携強化、中部圏で開催される世界的規模のイベントへの協力・支援 ■会員サービスの向上・会員拡大に向けた取り組み
--

※人口減少が進む中、産業や観光、防災などの分野で県域を越えた取り組みの推進を目指す連携の枠組み。富山・石川・福井・山梨・長野・岐阜・静岡・愛知・三重・滋賀の10県、名古屋・静岡・浜松の3市、北陸経済連合会、中経連で構成。2025年11月に発足。

主な活動紹介

産業の進化と多様化への貢献

1 DXとGXの推進

●GXを先導する社会実装の推進

- ・行政、金融機関などと連携したサプライチェーン全体におけるCO₂削減に向けた伴走支援の仕組み検討。
- ・次期エネルギー基本計画に対する提言の準備。
- ・地域活動プラットフォームと連携したGX推進活動の支援。

●DXとGXを両輪にした製造業のスマート化の推進

- ・DXの実装に向けた伴走支援、人材育成に資する支援、AI実装社会における働き方の検討など、提言書「DXとGXによる製造業のスマート化を起点とした産業の進化と多様化」（2026年3月策定）に基づく実装活動の推進。

●次世代モビリティ産業の振興

- ・中部先進モビリティ実装プラットフォーム「CAMIP^{※1}」をベースに、地域交通の課題解決に向けた産官学連携による新たなモビリティの創出と移動市場の開拓に資する取り組みの支援。
- ・COI-NEXT^{※2}マイモビリティ共創拠点^{※3}における取り組みの推進と支援。

※1 2021年5月に中経連と名古屋大学が共同で設立。産学官連携を通じて次世代モビリティの産業形成を推進する組織。

※2 産学官連携による「共創の場」の形成に向けた支援プログラム。

※3 名古屋大学が中心となり、マイカーを使わない人にも社会への公平なアクセスが可能となる超移動社会の実現を目指す共創の場。

●デジタルリテラシーの底上げ、サイバーセキュリティ対策の強化

- ・企業のサイバーセキュリティ対策の強化を促す講演会や従業員教育に役立つワークショップの開催。



中経連デジタル技術講演会「産業サイバーセキュリティ2025」のトークセッション



CO₂排出量の算定に関する勉強会の様子



製造業のスマート化に資する提言書の発表記者会見



第10回CAMIP佐久島ツアー（共催：名古屋大学）。ドローンや自動走行車両を連携させた物流システムを視察

中部圏デジタルのすすめ

詳細はこちら



デジタルを学べる場を発信するWEBサイト

2 半導体産業のさらなる振興

- ・中部圏における半導体産業のさらなる振興に向けたC²-FRONTS[※]（シー・フロンツ）との共同検討会を通じた活動の推進。

※ 中部5県の国立大学などで構成する連携組織。

3 イノベーション・スタートアップの振興

- ・スタートアップ・エコシステムの形成に向けた機運の醸成（Central Japan Startup Ecosystem Consortium^{※1}）の活動推進、グローバルイベント「TechGALA Japan^{※2}」の開催など。

※1 2022年に設立し、中経連、名古屋大学、愛知県、名古屋市（事務局）、浜松市、岐阜県、三重県、静岡県をはじめ327の企業・団体・大学などで構成するコンソーシアム。内閣府による「第2期スタートアップ・エコシステム拠点都市 グローバル拠点都市（広域都市圏型）」に選定されている。

※2 中日ビル、ナゴヤ イノベーターズ ガレージ、STATION Aiなどを会場に、国内外のスタートアップや事業会社、投資家などを集め、当地とつながるきっかけと位置付けるグローバルビジネスイベント。2024年度より開催。

主な活動紹介

- ・オープンイノベーションの促進に向け、中部圏の企業と全国各地の有望なスタートアップや大学発の事業化シーズをつなぐ「中部オープンイノベーション・フォーラム」を開催。



2026年1月に初開催された「中部オープンイノベーション・フォーラム」の様子



2回目の開催となった「TechGALA Japan2026」(2026年1月)のオープニング。左から3人目が勝野会長

- ・ナゴヤ イノベーターズ ガレージにおけるイノベーション創出人材の育成および人材越境の促進。

ナゴヤ イノベーターズ ガレージ (NIG) とは

2019年7月に名古屋市とともに開設した、中部圏のイノベーション創出に向けた拠点

所在地

名古屋市中区栄三丁目 18-1
ナディアパーク3・4F

累計来場者数

212,431名 (2026年4月末時点)

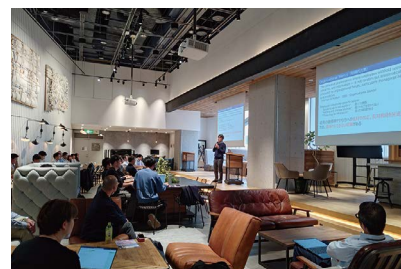
2025年度のイベント開催数/参加者数

412回/延べ参加者数 22,146名





NIGでは、「**中部圏のイノベーション・ハブ**」として、企業・組織・世代・分野を越えた越境と共創を通じて、新たな価値創出に挑戦する人材やプロジェクトを育てている。事業会社やスタートアップ、大学、行政など多様な主体が集い、つながり、学び合う場として、事業会社向けおよびアントレプレナー向けに、「マインド形成」「気づき・発見」「融合・成長」「共創・実践」の4つにステージ分けした多様なプログラムを展開している。



企業の新規事業担当者向けのセミナー「Innovators Academia」の様子

4 広域観光の振興

- ・中部5県の観光地域づくりに資する先進事例の発信を目的とした視察会や講演会の開催。
- ・30以上の自治体が参画する「基礎自治体観光ネットワーク」の設立・運営や中部圏で開催される世界的なイベントの開催支援等を通じた広域観光の促進。



愛知県で初開催された「ツーリズムEXPOジャパン2025愛知・中部北陸」(2025年9月)の様子



伊賀上野城下町における観光まちづくりに資する施策を視察



基礎自治体観光ネットワーク・視察会の様子

人材・働き方の高度化への貢献

1 高度人材やものづくり人材の育成・活躍

各地で深刻化する人手不足を念頭に、労働力の「質の向上」と「量の確保」を軸とした生産性の向上や柔軟な働き方の推進など、多様な人材の活躍を促進。

2 労働参加の拡大・多様な人材の活躍

- ・産学連携によるリスキリングプログラムの有効性向上を目的に大学と連携。調査した企業のニーズを踏まえた「モデルプログラム」を2026年度に構築予定。
- ・「副業・兼業」の実態把握に向けた会員アンケートを実施。2026年度は結果を踏まえたレポートを発信し、会員企業に対し、制度の理解深化や導入促進を図る。
- ・次世代を担う理系人材の確保に向け、小中学生を対象としたSTEAM教育※1の拡充。
- ・留学生をはじめとする外国人材の地域定着に資する企業と留学生の相互理解を目的としたイベントの開催など、行政や大学などと連携した取り組みの展開。

※1 科学、技術、工学、芸術・リベラルアーツ、数学 (Science, Technology, Engineering, Arts, Mathematics) の5つの分野を総合的に学ぶ教育方法。

※2 産学共創によるキャリア教育の実践策として、会員企業から会員大学へ講師を派遣するプログラム。



シンポジウムでリカレント・リスキリング教育支援の重要性について説明する神野副会長



「キャリア教育共創プログラム※2」の一環として会員企業や中経連の職員が大学で出前授業を実施



「リーダーになるために必要なマネージメント」セミナー・ワークショップ(共催:在日フランス商工会議所)



外国人留学生と企業の交流会

魅力と活力ある地域社会の形成への貢献

1 リニア中央新幹線開業の効果最大化／交通ネットワークの維持・形成／レジリエンスの強化

- ・中部圏の持続的な発展に向け、社会基盤の整備・強化、効率的な物流網の構築、企業における防災対策の推進。

＜直近の活動実績＞

- ① リニア中央新幹線の開業による「日本中央回廊」の形成効果の最大化に資する道路ネットワーク整備に向けた要望
- ② 提言書「『強靱で持続可能』な工業用水道事業に向けて」の実現に向けた要望



「『強靱かつ持続可能』な上下水道事業」の実現に向けて国へ要望する柘植副会長(写真右)

主な活動紹介

- ・中部国際空港の機能強化に向け、2027年度を目指す代替滑走路の供用および第二滑走路の早期整備に資する要望活動のほか、航空需要の拡大に資する地域連携活動を推進。
- ・災害対策の強化に向け、会員の課題解決や具体的な防災・減災対策の促進につながる「自助」の取り組みに加え、「共助」「公助」の拡大に向けた支援・要請活動を展開。



防災・減災に関連する行政からの情報を中経連HPで随時発信中

2 広域行政への転換

- ・産学官金による広域課題の共有、課題解決に向けた議論・活動の推進を活動目的とした「中部圏広域産学官連携協議会」および実務者層による「広域産学官協働ワーキンググループ」の開催。
- ・中部北陸の10県などで構成する新たな広域連携の枠組み「中部広域リージョン」への参画。

3 魅力ある地域づくり

- ・「なでしこの会」による女性の活躍促進を主軸とした対外向けイベントの開催や、女性の視点を生かした地域活性化に向けた活動の実施。
- ・中部圏の魅力発信イベントを通じた地域の魅力向上の推進。



「なでしこの会」による大学生とのワークショップ



地域産品の魅力を発信するイベント

4 多文化共生社会の実現

- ・外国にルーツを持つ児童・生徒向け日本語・学習教室に対する企業の持続的な支援に向けた仕組みづくりなど、産官連携による地域日本語教室支援事業の推進。



地域日本語教室と企業のボランティア人材をつなぐ研修およびマッチングイベント

分野横断事業・経済団体としてベースとなる活動

- ・経済政策、社会制度、経済法規などに関する調査研究や提言。
- ・地域経済や産業の振興に資する税制改正に関する調査研究や提言。
- ・国際化の推進、国際競争力の強化。
 - ① 外国政府機関や経済団体との懇談、経済交流の促進に向けた共催・連携イベントの開催
 - ② 最新の国際情勢をテーマとする講演会の開催
 - ③ 海外経済視察団の企画・派遣
- ・行政との連携・中部圏で開催される世界的規模のイベントへの協力・支援。



インド企業と中部圏企業の経済協力フォーラム
(共催:インド大使館)

地域会員懇談会の開催 ～中部圏各地域で意見交換・交流～

本会では、当地会員との意見交換を通じて、中部圏各地域が抱える諸課題に対する会員のニーズを把握し、本会の事業活動に生かすことを目的とした「地域会員懇談会」や「地域交流会」を開催しています。また、懇談会終了後には、関係の深化を目的とした交流会を行っております。

2025年度の開催実績

岐阜地域会員懇談会 出席者 勝野会長、村瀬副会長、青木副会長をはじめ 29名 主なテーマ 人口流出への対応、人材育成	長野地域会員懇談会 出席者 勝野会長、松下副会長、小川副会長をはじめ 19名 主なテーマ 理系人材の確保、人口減少と地域定着
岐阜・西濃地域交流会 出席者 平松専務理事をはじめ 22名 主なテーマ 人口減少、産業・技術	上・下伊那地域会員懇談会 出席者 勝野会長をはじめ 22名 主なテーマ 人口減少と地域定着、観光振興
三重地域会員懇談会 出席者 勝野会長、安藤（仁）副会長、杉浦副会長をはじめ 34名 主なテーマ 理系人材の確保、スタートアップ創出、カーボンニュートラル	愛知地域会員懇談会 出席者 ① 勝野会長、安藤（隆）副会長をはじめ 86名 ② 勝野会長、大島副会長、高原副会長をはじめ 61名 主なテーマ 人材育成、製造業のスマート化・イノベーション、観光振興
三重・中南勢地域交流会 出席者 平松専務理事をはじめ 13名 主なテーマ 観光、産業基盤、企業防災	東三河地域会員懇談会 出席者 勝野会長、神野副会長、北川理事をはじめ 24名 主なテーマ 企業防災、地域間連携、インフラ整備、観光振興
	静岡地域会員懇談会 出席者 勝野会長、中田副会長、柴田副会長をはじめ 27名 主なテーマ 理系人材の確保、建設業はじめとした人手不足、街の魅力再生

講演会・セミナー・会員交流事業・他経済団体との会合などの開催

本会では、時節を捉えたテーマによる講演会のほか、会員相互の交流を目的とする会員忘年会、新春賀詞交歓会、経団連などとの意見交換・交流を目的とする「東海地域経済懇談会」などの開催を通じて、会員同士の交流促進につながる活動を展開しています。

- 定時総会 [6月]
 - 西日本経済協議会 総会
(北陸、関西、中国、四国、九州の経済連合会による会合) [秋頃]
 - 会員忘年会 [12月]
 - 新春賀詞交歓会 [1月]
 - 東海地域経済懇談会 (経団連などとの会合) [2月]
 - 講演会、セミナー、ネットワーキングイベント [随時]
 - 海外経済視察団 [年1回]
- など

講演会、セミナー、ネットワーキングイベントの開催例

- カーボンニュートラル共創シンポジウム
 - デジタル人材育成セミナー
 - 講演会、セミナー
 - 「なでしこの会」イベント
 - サイバーセキュリティイベント
- 人材セミナー「『自分で決めた』経験が育むイノベーション人材」
 2026年度税制改正セミナー
 企業防災セミナー「大規模地震から学ぶ未来への備え～経営者にこそ聞いてもらいたいこと～」
 グローバルセミナー「アフリカ市場への玄関口としてのエジプトの魅力」

上記以外にも多数開催



定時総会



会員忘年会



東海地域経済懇談会 (経団連などとの共同記者会見の様子)

情報発信活動

本会では、機関誌「中経連」や経済調査レポートなどの発行を通じて、中経連の活動内容を発信しています。また、ホームページやメールマガジンでは、各委員会が主催する会員限定の講演会・セミナー、本会やナゴヤ イノベーターズ ガレージ主催によるイベントのほか、関係機関や外国公館、行政、経済団体からのお知らせなど、中部圏に関するさまざまな情報をタイムリーにお届けしています。

会長コメントの発信

中経連会長の定例記者会見における発言要旨や各種コメントをご紹介します。



提言・要望活動の紹介

各委員会がとりまとめた提言・要望の詳細を掲載。

経済調査レポートの発表

中部圏の景気動向や経済指標などを発信。

メールマガジンの配信

会員限定のイベントや耳よりの情報をいち早くお届け。

詳細・登録はこちら ▶



機関誌「中経連」の発行 (2ヵ月に1回)



機関誌でしか読むことができない会員代表者の巻頭言やコラム、新入会員紹介、中部圏に関する特集記事を掲載！

中経連のあゆみ

1951年	4月	中部経済連合会創立
1957年	3月	「中部経済5カ年計画」発表(伊勢湾に銑鋼一貫メーカーの誘致を提唱)
1958年	9月	本会の誘致により東海製鐵株式会社(現・日本製鐵株式会社名古屋製鐵所)設立
1963年	4月	「東海3県統合構想」発表
1969年	12月	「大規模国際貨物空港建設構想」発表
1982年	4月	「21世紀の中部ビジョン」発表
1985年	2月	「三遠南信トライアングル構想」発表
1985年	4月	財団法人ファインセラミックスセンター(現・一般財団法人ファインセラミックスセンター)設立
1991年	2月	財団法人国際環境技術移転研究センター(現・公益財団法人国際環境技術移転センター)設立
1991年	5月	社団法人に移行し、運営基盤を強化
1998年	5月	中部国際空港株式会社設立
2001年	11月	「21世紀中部の針路」発表
2001年	11月	中部国際空港利用促進協議会設立
2005年	2月	中部国際空港(セントレア)開港
2005年	3月	2005年日本国際博覧会(愛知万博)開幕
2005年	10月	中部(富山、石川、福井、長野、岐阜、静岡、愛知、三重、滋賀)広域観光推進協議会設立
2007年	4月	ファインセラミックスセンター内にナノ構造研究所設立
2012年	1月	昇龍道プロジェクトがスタート
2012年	4月	一般社団法人に移行
2017年	5月	広域連携DMO・一般社団法人中央日本総合観光機構発足(中部広域観光推進協議会を発展的に改組)
2019年	5月	一般社団法人中部圏イノベーション推進機構設立
2019年	7月	ナゴヤ イノベーターズ ガレージ開設
2021年	6月	創立70周年記念式典開催
2022年	7月	ナゴヤ イノベーターズ ガレージ拡張(Annex)
2025年	2月	「中部圏ビジョン 2050」発表
2025年	6月	中期活動指針『ACTION 2030』発表



入会案内

入会までの流れ・会費

入会条件 中部圏の発展に向けて、本会の活動趣旨にご賛同いただける法人および団体

入会までの流れ



会費

- 法人会員 —— 180,000円(1口)
- 団体会員 —— 30,000円(1口)

※会費期間は4月から翌年3月までの1年間です。

※初年度は入会月から3月までの会費を月割りで請求させていただきます。

入会のメリット

委員会や懇談会に参加いただけます

委員会や会員懇談会に参加いただくことで、その「声」を政策提言に反映することができます。より良い中部圏をつくるために、共に活動してみませんか？

ネットワークを構築できます

中経連には、中部圏を代表するような企業・学校法人・経済団体のほか、中部圏以外に本社を置き、国内外で活躍する企業、大企業だけでなく中堅・中小企業など、多くの方に入会いただいております。委員会やその後の交流会をはじめ、会員忘年会や視察会など、ネットワークづくりにつながるイベントを多数用意しております。ぜひ仲間づくりにご活用ください。

さまざまな情報が得られます

中経連は委員会や講演会、シンポジウムを適宜開催しているほか、国、自治体、大学などと連携しております。多方面にわたるさまざまな情報収集にご活用ください。

入会に関するお問い合わせ先

一般社団法人中部経済連合会 総務・会員サービス部

〒461-0008

名古屋市東区武平町5丁目1番地 名古屋栄ビルディング10階

TEL 052(962)8091 FAX 052(962)8090

E-Mail info@chukeiren.or.jp

中経連HP「入会案内」



中経連 入会



アクセス



一般社団法人

中部経済連合会

CENTRAL JAPAN ECONOMIC FEDERATION

中経連HP▼



アクセス▼



〒461-0008 名古屋市東区武平町5丁目1番地 名古屋栄ビルディング10階
TEL 052 (962) 8091 FAX 052 (962) 8090

● 鉄道でお越しの場合

【名古屋市営地下鉄】東山線・名城線「栄」駅下車

【名古屋鉄道】瀬戸線「栄町」駅下車

地下鉄5番出口より東へ徒歩1分

● お車でお越しの場合

【名古屋高速都心環状線・空港線】「東新町」出口から西へ3分

※本会は来客用の駐車場を備えておりません。

最寄の有料駐車場【愛知芸術文化センター地下「アートパーク東海駐車場」】【中日ビル駐車場】などをご利用ください。



名古屋栄ビルディング外観



シンボルマークのコンセプト



- ・中経連の英語名 (Chubu Economic Federation*) の頭文字をモチーフに 2001 年にデザイン。
- ・左から右へ波打つように「躍動」「飛躍」していく姿を象徴。
- ・C、E、F の 3 文字が互いにつながり結合した姿は「交流」「連携」をイメージ。
- ・デザインの中に同心円を使用し、「求心力」を表現。

カラー：くすみのない朱色

好況＝「はれやかな景気」をイメージ。

※2017年にCentral Japan Economic Federationに英語名を変更